

1 幼稚園

園児数 3,050 人で減少

3 歳児入園者の割合、幼稚園就園率はともに低下

表 1 幼稚園の推移

(単位：園、学級、人、%)

年度	A 園数	B 学級数	C 園児数	対前年度 増減率	D 教員数 (本務者)	対前年度 増減率	1 学級当たり		本務教員 1 人当たり		女子教員 の占める 割合
							園児数 C/B	対前年度 増減数	園児数 C/D	対前年度 増減数	
平成25	89	429	6,891	△4.7	615	△4.9	16.1	0.2	11.2	0.0	94.5
26	86	425	6,605	△4.2	601	△2.3	15.5	△0.6	11.0	△0.2	93.8
27	74	342	5,228	△20.8	514	△14.5	15.3	△0.2	10.2	△0.8	94.6
28	66	305	4,547	△13.0	475	△7.6	14.9	△0.4	9.6	△0.6	94.5
29	57	267	3,807	△16.3	423	△10.9	14.3	△0.6	9.0	△0.6	94.3
30	51	221	3,050	△19.9	358	△15.4	13.8	△0.5	8.5	△0.5	93.9
国立	1	5	97	△3.0	7	0.0	19.4	△0.6	13.9	△0.4	100.0
公立	22	75	886	△11.3	95	△6.9	11.8	△0.1	9.3	△0.5	98.9
私立	28	141	2,067	△23.7	256	△18.5	14.7	△0.5	8.1	△0.5	91.8

(1) 幼稚園数

幼稚園数 51 園で、前年度より 6 園減少（廃園 6 園）しており、このうち休園中の幼稚園は 2 園（公立 1 園、私立 1 園）であった。

設置者別にみると、国立が 1 園、公立が 22 園、私立が 28 園となっている。

(表 1、統計表 2、4、5)

(2) 学級数

学級数は 221 学級（国立 5 学級、公立 75 学級、私立 141 学級）で、前年度より 46 学級減少している。

収容人員別にみると、「1～15 人学級」が 99 学級で最も多く、次いで「16～20 人学級」と「21～25 人学級」がともに 38 学級、「26～30 人学級」が 19 学級などとなっている。

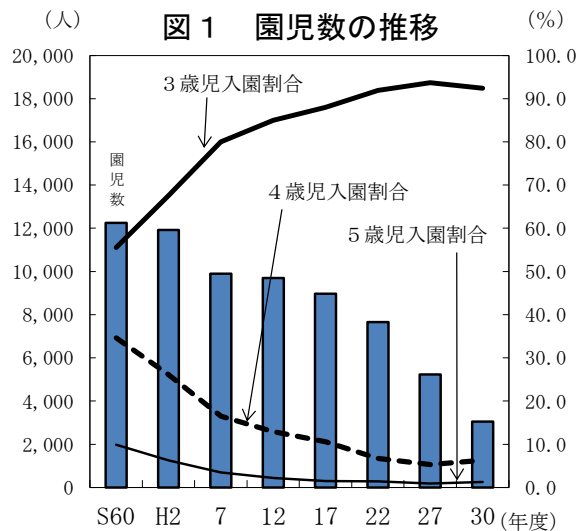
(表 1、統計表 7、8)

(3) 園児数

園児数は 3,050 人で、前年度より 757 人（19.9%）減少している。

男女別にみると、男子が 1,536 人で、前年度より 377 人（19.7%）減少し、女子が 1,514 人で、前年度より 380 人（20.1%）減少している。

設置者別では、国立が 97 人、公立が 886 人、私立が 2,067 人で、私立が全体の 67.8%を占めている。



年齢別では、3歳児が916人で、前年度より268人（22.6%）減少し、4歳児が1,047人で、前年度より226人（17.8%）減少し、5歳児が1,087人で、前年度より263人（19.5%）減少している。園児数に占める3歳児の割合は30.0%（前年度31.1%）である。

また、3歳児入園者の割合は92.4%（前年度93.2%）である。

本務教員1人当たりの園児数は8.5人（前年度9.0人）で、全国の12.6人を下回っている。

（表1、2、図1、統計表3、15）

表2 年齢別園児数

（単位：人、%）

年度	計	3歳児	4歳児			5歳児				3歳児入園者の割合
			計	3歳から入園	4歳から入園	計	3歳から入園	4歳から入園	5歳から入園	
平成25	6,891	2,168	2,338	2,128	210	2,385	2,080	216	89	92.5
26	6,605	2,085	2,197	2,007	190	2,323	2,029	199	95	92.7
27	5,228	1,657	1,740	1,614	126	1,831	1,629	153	49	93.7
28	4,547	1,429	1,521	1,414	107	1,597	1,395	144	58	93.2
29	3,807	1,184	1,273	1,189	84	1,350	1,176	123	51	93.2
30	3,050	916	1,047	949	98	1,087	954	93	40	92.4
男子	1,536	459	507	458	49	570	500	48	22	92.3
女子	1,514	457	540	491	49	517	454	45	18	92.6
国立	97	22	37	13	24	38	24	14	—	60.8
公立	886	236	319	283	36	331	282	41	8	90.4
私立	2,067	658	691	653	38	718	648	38	32	94.8

幼稚園就園率（小学校第1学年児童数に対する幼稚園修了者の比率）は16.9%（前年度19.5%）で、前年度より2.6ポイント低下している。（表3、統計表10、34）

表3 幼稚園就園率

（単位：人、%）

年度	幼稚園修了者数	小学校第1学年児童数	幼稚園就園率
平成25	2,554	8,929	28.6
26	2,369	8,751	27.1
27	2,337	8,611	27.1
28	1,853	8,466	21.9
29	1,588	8,133	19.5
30	1,350	7,998	16.9

注）幼稚園就園率＝幼稚園修了者数÷小学校第1学年児童数×100

（4）教員数及び職員数

教員数（本務者）は358人（男子22人、女子336人）で、前年度より65人（15.4%）減少している。教員数に占める女子教員の割合は93.9%である。

職員数は75人で、前年度より2人減少している。

（表1、統計表9、12、14）

2 幼保連携型認定こども園

園児数 12,795 人で増加

表 4 幼保連携型認定こども園の推移

(単位：園、学級、人、%)

年度	A 園数	B 学級数	C		D		1 学級当たり		本務教員 1 人当たり		女子教員 の占める 割合
			園児数	対前年度 増減率	教員数 (本務者)	対前年度 増減率	園児数 (3～5歳児)	対前年度 増減数	園児数 C/D	対前年度 増減数	
平成27	26	137	3,972	—	594	—	20.5	—	6.7	—	96.5
28	58	292	8,435	112.4	1,307	120.0	19.4	△1.1	6.5	△0.2	95.8
29	80	390	11,479	36.1	1,864	42.6	19.8	0.4	6.2	△0.3	95.8
30	89	427	12,795	11.5	2,044	9.7	20.4	0.6	6.3	0.1	96.0
公立	4	19	503	5.7	68	3.0	18.2	△0.1	7.4	0.2	100.0
私立	85	408	12,292	11.7	1,976	9.9	20.5	0.6	6.2	0.1	95.9

(1) 幼保連携型認定こども園数

幼保連携型認定こども園数は 89 園で、前年度より 9 園増加（新設 9 園）している。

設置者別にみると、公立が 4 園、私立が 85 園となっている。（表 4、統計表 17）

(2) 学級数

学級数は 427 学級（公立 19 学級、私立 408 学級）で、前年度より 37 学級増加している。

収容人員別にみると、「21～25 人学級」が 115 学級で最も多く、次いで「16～20 人学級」が 99 学級、「1～15 人学級」が 83 学級などとなっている。

（表 4、統計表 22、23）

(3) 園児数

園児数は 12,795 人で、前年度より 1,316 人（11.5%）増加している。

男女別にみると、男子が 6,596 人で、前年度より 683 人（11.6%）増加し、女子が 6,199 人で、前年度より 633 人（11.4%）増加している。

設置者別では、公立が 503 人、私立が 12,292 人で、私立が全体の 96.1%を占めている。

年齢別では、0 歳児が 388 人で、前年度より 38 人（10.9%）増加し、1 歳児が 1,727 人で、前年度より 145 人（9.2%）増加し、2 歳児が 1,978 人で、前年度より 148 人（8.1%）増加し、3 歳児が 3,054 人で、前年度より 401 人（15.1%）増加し、4 歳児が 2,820 人で、前年度より 282 人（11.1%）増加し、5 歳児が 2,828 人で、前年度より 302 人（12.0%）増加している。

本務教員（教育・保育職員）1 人当たりの園児数は 6.3 人で、全国の 6.5 人を下回っている。

（表 4、5、図 2、統計表 18）

図 2 園児数の推移

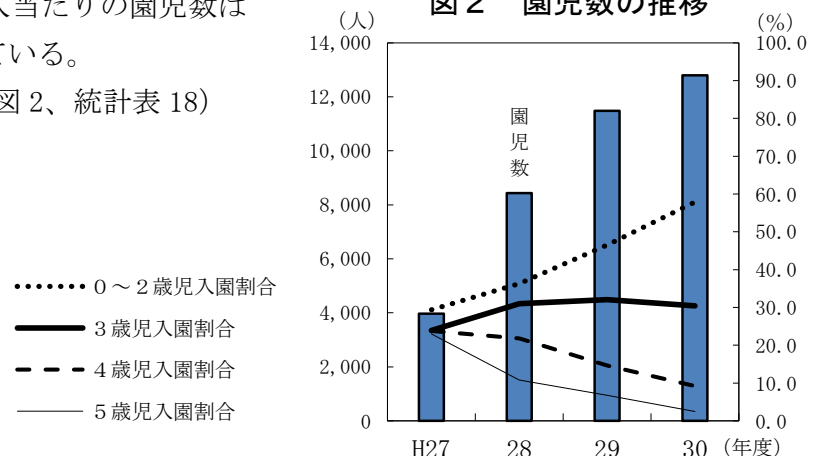


表5 年齢別園児数

(単位：人、%)

年 度	計	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児
平成 27	3,972	91	512	564	950	943	912
28	8,435	256	1,128	1,384	2,012	1,826	1,829
29	11,479	350	1,582	1,830	2,653	2,538	2,526
30	12,795	388	1,727	1,978	3,054	2,820	2,828
男子	6,596	213	922	1023	1,578	1,430	1,430
女子	6,199	175	805	955	1,476	1,390	1,398
公立	503	18	58	82	114	108	123
私立	12,292	370	1,669	1,896	2,940	2,712	2,705

幼保連携型認定こども園就園率（小学校第1学年児童数に対する幼保連携型認定こども園修了者の比率）は、32.8%である。（表6、統計表25、34）

表6 幼保連携型認定こども園就園率

(単位：人、%)

年度	幼保連携型認定こども園 修了者数	小学校第1 学年児童数	幼保連携型認定こども園 就園率
平成28	911	8,466	10.8
29	1,895	8,133	23.3
30	2,620	7,998	32.8

注) 幼保連携型認定こども園就園率＝幼保連携型認定こども園修了者数÷小学校第1学年児童数×100

(4) 教員数及び職員数

教員数（本務者）は、2,044人（男子81人、女子1,963人）で、前年度より180人（9.7%）増加している。教員数に占める女子教員の割合は96.0%となっている。

職員数は407人で、前年度より44人増加している。

（表4、統計表24、27、29）

3 小 学 校

児童数 50,907 人で減少

表 7 小学校の推移

(単位：校、学級、人、%)

年度	A	B	C		D		1 学級当たり		本務教員 1 人当たり		女子教員 の占める 割合
	学校数	学級数	児童数	対前年度 増 減 率	教員数 (本務者)	対前年度 増 減 率	児童数 C／B	対前年度 増 減 数	児童数 C／D	対前年度 増 減 数	
平成25	198	2,372	56,684	△2.2	3,685	0.1	23.9	△0.4	15.4	△0.3	66.9
26	196	2,334	55,277	△2.5	3,651	△0.9	23.7	△0.2	15.1	△0.3	66.3
27	196	2,321	54,195	△2.0	3,653	0.1	23.3	△0.4	14.8	△0.3	65.8
28	193	2,302	53,112	△2.0	3,614	△1.1	23.1	△0.2	14.7	△0.1	65.4
29	193	2,281	51,932	△2.2	3,598	△0.4	22.8	△0.3	14.4	△0.3	65.2
30	190	2,245	50,907	△2.0	3,587	△0.3	22.7	△0.1	14.2	△0.2	64.7
国立	1	12	419	△0.2	18	0.0	34.9	△0.1	23.3	0.0	38.9
公立	189	2,233	50,488	△2.0	3,569	△0.3	22.6	△0.1	14.1	△0.3	64.8

(1) 学校数

学校数は 190 校（本校 189 校、分校 1 校）で、前年度より 3 校減少（新設 1 校、廃校 4 校）し、このうち休校中の学校は 3 校（公立 3 校）であった。

設置者別にみると、国立が 1 校、公立が 189 校となっている。

市町村別では、富山市 67 校、高岡市 26 校、射水市 15 校などとなっている。

学級数別では、7 学級の学校が 31 校（構成比 16.3%）で最も多く、次いで 8 学級の学校が 26 校（同 13.7%）、14 学級の学校が 20 校（同 10.5%）などとなっている。学級規模で学校数をみると、「11 学級以下（小規模又は休校）」が 101 校（構成比 53.2%）、「12～18 学級（標準）」が 61 校（同 32.1%）、「19 学級以上（大規模）」が 28 校（同 14.7%）となっている。

（表 7、統計表 32、40）

(2) 学級数

学級数は 2,245 学級で、前年度より 36 学級減少している。

編制方式別にみると、単式学級が 1,840 学級（構成比 82.0%）、複式学級が 33 学級（同 1.5%）、特別支援学級が 372 学級（同 16.6%）となっている。

（表 7、統計表 33）

(3) 児童数

児童数は 50,907 人（男子 26,201 人、女子 24,706 人）で、前年度より 1,025 人（2.0%）減少している。これはピーク時（昭和 33 年度、159,700 人）の 31.9%である。

学級編制方式別にみると、単式学級児童が 49,456 人、複式学級児童が 329 人、特別支援学級児童が 1,122 人となっている。

市町村別では、富山市 20,814 人、高岡市 7,609 人、射水市 4,940 人の順に多い。対前年度増減数をみると、富山市 284 人（1.3%）減少、高岡市 94 人（1.2%）減少、射水市 115 人（2.3%）減少などすべての市町村で減少している。

1学級当たりの児童数は22.7人（前年度22.8人）で、全国の23.5人を下回っている。
 本務教員1人当たりの児童数は14.2人（前年度14.4人）で、全国の15.3人を下回っている。
 （表7、8、統計表34、43）

表8 男女別及び学年別児童数の推移

（単位：人）

年度	計	男子	女子	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年
平成25	56,684	29,119	27,565	8,929	9,030	9,326	9,572	9,685	10,142
26	55,277	28,374	26,903	8,751	8,934	9,016	9,321	9,585	9,670
27	54,195	27,807	26,388	8,611	8,752	8,927	9,011	9,324	9,570
28	53,112	27,251	25,861	8,466	8,618	8,744	8,930	9,020	9,334
29	51,932	26,788	25,144	8,133	8,485	8,624	8,751	8,920	9,019
30	50,907	26,201	24,706	7,998	8,108	8,499	8,619	8,757	8,926

（4）教員数及び職員数

教員数（本務者）は3,587人（男子1,267人、女子2,320人）で、前年度より11人（0.3%）減少している。教員数に占める女子教員の割合は64.7%である。

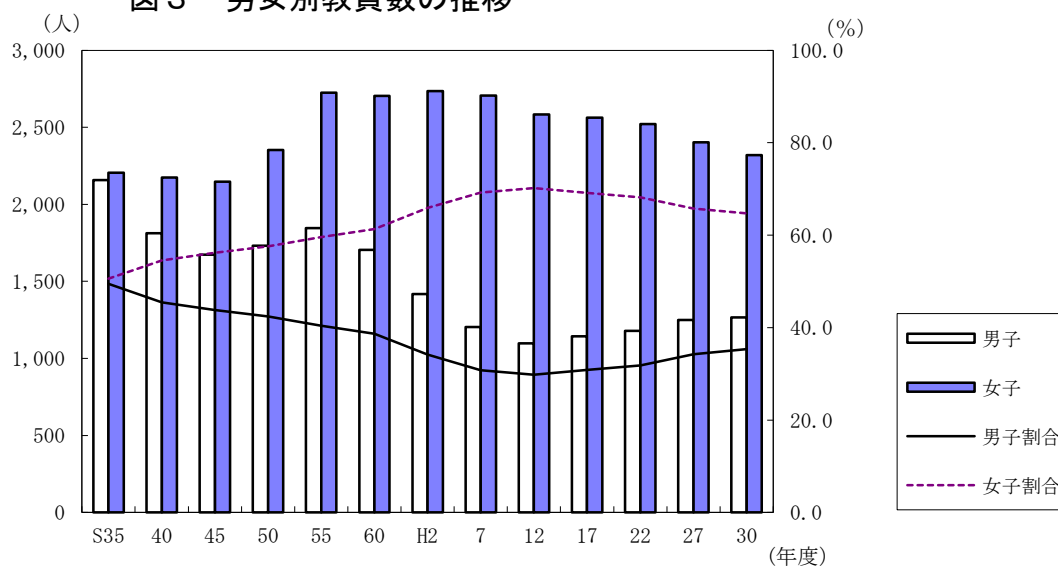
職員数は763人で、前年度より18人減少している。（表7、9、図3、統計表35、36、48）

表9 男女別教員数

（単位：人）

年度	計	男	女
平成25	3,685	1,219	2,466
26	3,651	1,232	2,419
27	3,653	1,250	2,403
28	3,614	1,252	2,362
29	3,598	1,251	2,347
30	3,587	1,267	2,320

図3 男女別教員数の推移



4 中 学 校

生徒数 27,879 人で減少

表10 中学校の推移

(単位：校、学級、人、%)

年度	A 学校数	B 学級数	C		D		1 学級当たり		本務教員 1 人当たり		女子教員 の占める 割合
			生徒数	対前年度 増 減 率	教員数 (本務者)	対前年度 増 減 率	生徒数 C / B	対前年度 増 減 数	生徒数 C / D	対前年度 増 減 数	
平成25	82	1,030	30,372	0.0	2,172	0.9	29.5	△0.2	14.0	△0.1	46.9
26	83	1,039	30,419	0.2	2,183	0.5	29.3	△0.2	13.9	△0.1	46.6
27	83	1,024	29,867	△1.8	2,173	△0.5	29.2	△0.1	13.7	△0.2	46.2
28	83	998	29,312	△1.9	2,149	△1.1	29.4	0.2	13.6	△0.1	46.5
29	82	983	28,534	△2.7	2,116	△1.5	29.0	△0.4	13.5	△0.1	47.0
30	82	972	27,879	△2.3	2,130	0.7	28.7	△0.3	13.1	△0.4	47.5
国立	1	12	476	0.0	24	4.3	39.7	0.0	19.8	△0.9	29.2
公立	80	952	27,117	△2.2	2,083	0.6	28.5	△0.3	13.0	△0.4	47.8
私立	1	8	286	△11.5	23	0.0	35.8	△0.1	12.4	△1.6	39.1

(1) 学校数

学校数は 82 校（本校 81 校、分校 1 校）で、前年度と同数である。

設置者別にみると、国立が 1 校、公立が 80 校、私立が 1 校となっている。

市町村別では、富山市 29 校、高岡市 12 校、南砺市 8 校などとなっている。

学級数別では、8 学級と 11 学級の学校がともに 13 校（構成比 15.9%）で最も多く、次いで 20 学級の学校が 7 校（同 8.5%）、12 学級の学校が 6 校（同 7.3%）などとなっている。学級規模で学校数をみると、「11 学級以下（小規模）」が 47 校（構成比 57.3%）、「12～18 学級（標準）」が 21 校（同 25.6%）、「19 学級以上（大規模）」が 14 校（同 17.1%）となっている。

（表 10、統計表 50、52）

(2) 学級数

学級数は 972 学級で、前年度より 11 学級減少している。

編制方式別にみると、単式学級が 815 学級（構成比 83.8%）、複式学級が 1 学級（同 0.1%）、特別支援学級が 156 学級（同 16.0%）となっている。

（表 10、統計表 51）

(3) 生徒数

生徒数は 27,879 人（男子 14,320 人、女子 13,559 人）で、前年度より 655 人（2.3%）減少している。これはピーク時（昭和 37 年度、88,658 人）の 31.4%である。

学級編制方式別にみると、単式学級生徒が 27,416 人、複式学級生徒が 2 人、特別支援学級生徒が 461 人となっている。

市町村別では、富山市 11,368 人、高岡市 4,115 人、射水市 2,617 人の順に多い。対前年度増減数をみると、滑川市 2 人（0.2%）増加と 1 市で増加し、富山市 173 人（1.5%）減少、高岡市 143 人（3.4%）減少、射水市 74 人（2.7%）減少など 14 市町村で減少している。

1 学級当たりの生徒数は 28.7 人（前年度 29.0 人）で、全国の 27.5 人を上回っている。

本務教員 1 人当たりの生徒数は 13.1 人（前年度 13.5 人）で、全国の 13.2 人を下回っている。

（表 10、11、統計表 54、64）

表11 男女別及び学年別生徒数の推移

（単位：人）

年度	計	男子	女子	1 学年	2 学年	3 学年
平成25	30,372	15,529	14,843	10,122	10,187	10,063
26	30,419	15,523	14,896	10,117	10,113	10,189
27	29,867	15,346	14,521	9,654	10,110	10,103
28	29,312	15,010	14,302	9,542	9,654	10,116
29	28,534	14,603	13,931	9,314	9,561	9,659
30	27,879	14,320	13,559	9,010	9,317	9,552

（４）教員数及び職員数

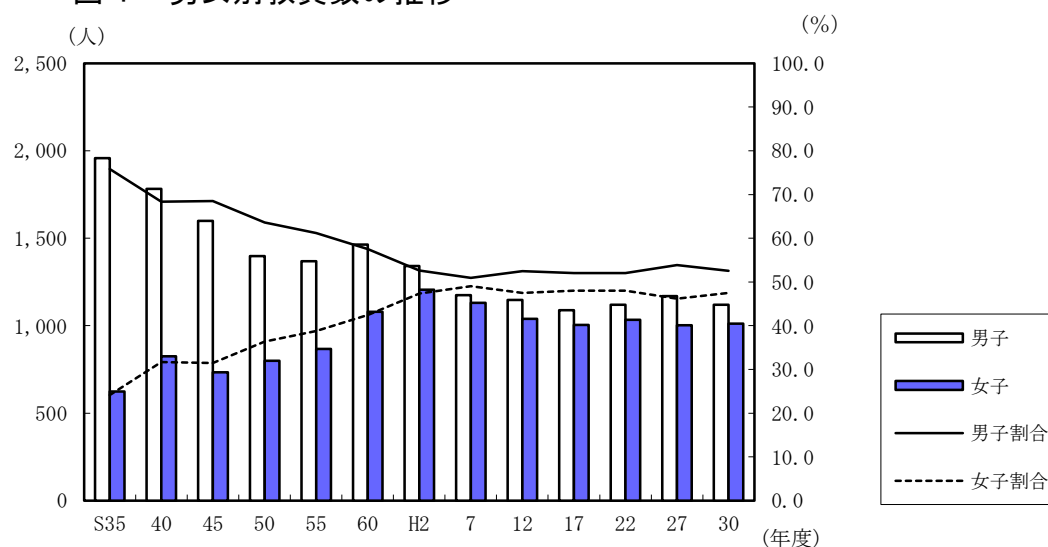
教員数（本務者）は 2,130 人（男子 1,119 人、女子 1,011 人）で、前年度より 14 人（0.7%）増加している。教員数に占める女子教員の割合は 47.5%である。

職員数は 291 人で、前年度より 4 人減少している。（表 10、12、図 4、統計表 58、62、65）

表 12 男女別教員数 （単位：人）

年度	計	男	女
平成 25	2,172	1,154	1,018
26	2,183	1,166	1,017
27	2,173	1,170	1,003
28	2,149	1,150	999
29	2,116	1,122	994
30	2,130	1,119	1,011

図 4 男女別教員数の推移



5 高等学校

【全日制課程・定時制課程】

生徒数 28,286 人で減少

表13 高等学校（全日制課程・定時制課程）の推移

(単位：校、人、%)

年度	A 学校数	B		C		本務教員 1 人当たり		女子教員の占める割合
		生徒数	対前年度増減率	教員数(本務者)	対前年度増減率	生徒数 B/C	対前年度増減数	
平成25	53	28,864	△1.4	2,308	△1.5	12.5	0.0	37.1
26	53	28,857	△0.0	2,316	0.3	12.5	0.0	37.6
27	53	28,671	△0.6	2,309	△0.3	12.4	△0.1	38.2
28	53	28,624	△0.2	2,313	0.2	12.4	0.0	37.5
29	53	28,708	0.3	2,306	△0.3	12.4	0.0	37.6
30	53	28,286	△1.5	2,278	△1.2	12.4	0.0	37.7
公立	43	22,111	△2.2	1,872	△1.9	11.8	0.0	39.4
私立	10	6,175	1.2	406	2.0	15.2	△0.1	30.0

(1) 学校数

学校数は 53 校で、前年度と同数である。

設置者別にみると、公立が 43 校（全日制 37 校、定時制 5 校、併置 1 校）、私立が 10 校（全日制 10 校）となっている。

学科別では、1 学科のみの単独校が 34 校（普通科 22 校、農業科 2 校、工業科 5 校、商業科 2 校、その他 1 校、総合学科 2 校）、総合校が 19 校（「普通科と専門学科 1」の学校が 11 校、「普通科と専門学科 2 以上」の学校が 7 校、「専門学科 1 と総合学科」の学校が 1 校）となっている。普通科を設置している学校は 40 校（構成比 75.5%）である。

男女別学校数では、男子校及び女子校は無く、男女共学校が 53 校となっている。

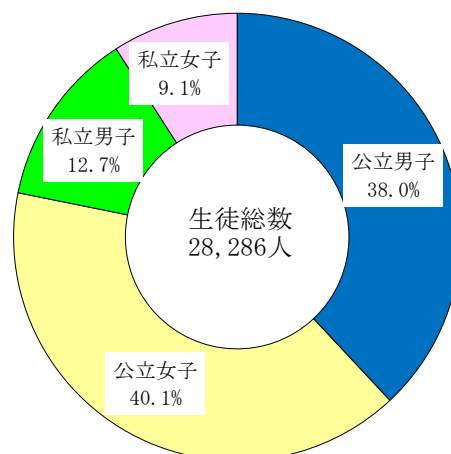
(表 13、統計表 68、69、70)

(2) 生徒数

生徒数は 28,286 人（男子 14,358 人、女子 13,928 人）で、前年度より 422 人（1.5%）減少している。これはピーク時（昭和 40 年度、65,436 人）の 43.2% である。

設置者別にみると、公立が 22,111 人（男子 10,758 人、女子 11,353 人）で、前年度より 496 人（2.2%）減少し、私立が 6,175 人（男子 3,600 人、女子 2,575 人）で、前年度より 74 人（1.2%）増加している。この結果、公立が 78.2%、私立が 21.8% の割合であった。

図 5 設置者・男女別生徒数の構成



課程別では、全日制本科が 27,048 人（男子 13,805 人、女子 13,243 人）で、前年度より 366 人（1.3%）減少し、定時制本科が 987 人（男子 455 人、女子 532 人）で、前年度より 45 人（4.4%）減少し、全日制専攻科が 102 人（男子 23 人、女子 79 人）で、前年度より 5 人（5.2%）増加し、定時制専攻科が 149 人（男子 75 人、女子 74 人）で、前年度より 16 人（9.7%）減少している。

本科生徒数を学科別にみると、普通科が 18,319 人（構成比 65.3%）で最も多く、次いで工業科が 3,461 人（同 12.3%）、商業科が 2,206 人（同 7.9%）などとなっている。

本務教員 1 人当たりの生徒数は 12.4 人（前年度 12.4 人）で、全国の 13.9 人を下回っている。

本年度の本科の入学者数は 9,183 人（全日制 8,912 人、定時制 271 人）で、前年度より 412 人（4.3%）減少し、このうち他県所在の中学校卒業者が 74 人（全日制 72 人、定時制 2 人）、過年度中学校卒業者が 7 人（定時制 7 人）であった。

（表 13、14、15、16、図 5、統計表 82、83、84、85）

表14 学年別生徒数（本科＋専攻科）

（単位：人）

年度	計	男子	女子	本 科					専攻科
				計	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	
平成26	28,857	14,524	14,333	28,574	9,576	9,438	9,476	84	283
27	28,671	14,394	14,277	28,416	9,662	9,387	9,264	103	255
28	28,624	14,391	14,233	28,356	9,576	9,487	9,192	101	268
29	28,708	14,438	14,270	28,446	9,642	9,396	9,324	84	262
30	28,286	14,358	13,928	28,035	9,215	9,470	9,242	108	251

表15 学科別生徒数（本科のみ）

（単位：人）

年度	計	普通	農業	工業	商業	水産	家庭	看護	福祉	その他	総合
平成26	28,574	18,574	575	3,488	2,301	173	658	116	109	1,161	1,419
27	28,416	18,521	567	3,425	2,247	178	666	117	99	1,168	1,428
28	28,356	18,541	553	3,403	2,241	180	648	118	90	1,157	1,425
29	28,446	18,647	538	3,469	2,218	179	595	119	90	1,160	1,431
30	28,035	18,319	497	3,461	2,206	178	596	115	90	1,152	1,421
男子	14,260	8,976	302	2,976	845	127	54	4	5	565	406
女子	13,775	9,343	195	485	1,361	51	542	111	85	587	1,015

注）理数関係及び外国語関係はその他に分類されている（探究科学科を含む）。

表16 学科別生徒数構成比（本科のみ）

（単位：%）

年度	計	普通	農業	工業	商業	水産	家庭	看護	福祉	その他	総合
平成26	100.0	65.0	2.0	12.2	8.1	0.6	2.3	0.4	0.4	4.1	5.0
27	100.0	65.2	2.0	12.1	8.0	0.6	2.3	0.4	0.3	4.1	5.0
28	100.0	65.4	2.0	12.0	7.9	0.6	2.3	0.4	0.3	4.1	5.0
29	100.0	65.6	1.9	12.2	7.8	0.6	2.1	0.4	0.3	4.1	5.0
30	100.0	65.3	1.8	12.3	7.9	0.6	2.1	0.4	0.3	4.1	5.1
男子	100.0	62.9	2.1	20.9	5.9	0.9	0.4	0.0	0.0	4.0	2.8
女子	100.0	67.8	1.4	3.5	9.9	0.4	3.9	0.8	0.6	4.3	7.4

注）理数関係及び外国語関係はその他に分類されている（探究科学科を含む）。

(3) 教員数及び職員数

教員数（本務者）は2,278人（男子1,419人、女子859人）で、前年度より28人（1.2%）減少している。教員数に占める女子教員の割合は37.7%である。

設置者別にみると、公立が1,872人（男子1,135人、女子737人）、私立が406人（男子284人、女子122人）となっている。

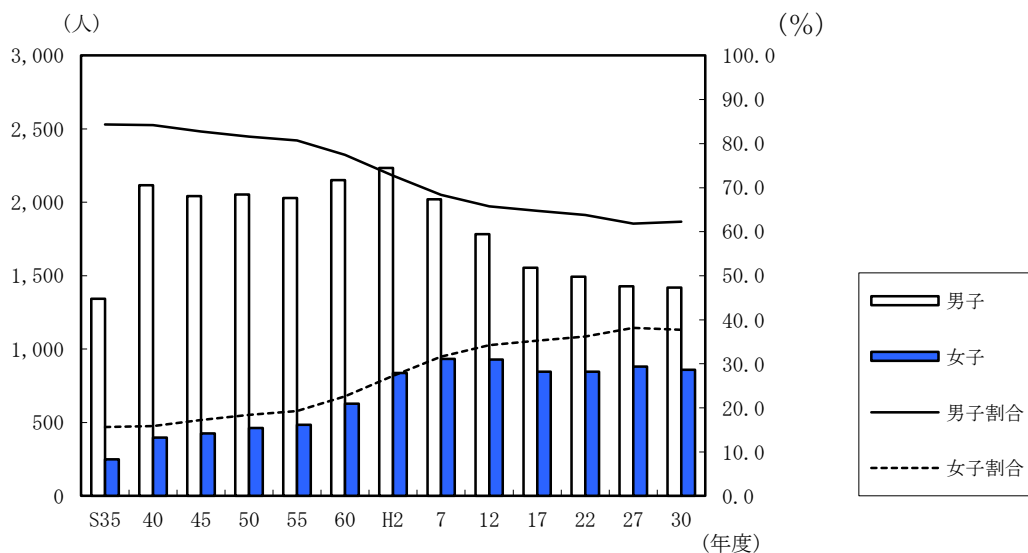
職員数は503人で、前年度より13人増加している。

（表13、17、図6、統計表75、76、77）

表17 男女別教員数 （単位：人）

年度	計	男	女
平成25	2,308	1,451	857
26	2,316	1,445	871
27	2,309	1,428	881
28	2,313	1,446	867
29	2,306	1,439	867
30	2,278	1,419	859

図6 男女別教員数の推移



【通信制課程】

(1) 学校数

学校数は2校（併置校2校）で、前年度と同数である。

(2) 生徒数

生徒数は944人（男子434人、女子510人）で、前年度より25人（2.7%）増加している。

20歳以上について年齢別にみると、「30～39歳」が216人（構成比22.9%）で最も多く、次いで「20～24歳」が180人（同19.1%）、「25～29歳」が135人（同14.3%）などとなっている。

(3) 教員数

教員数（本務者）は18人で、前年度と同数である。

（統計表90、91、94）

6 特別支援学校

在学者数 1,288 人で減少

表18 特別支援学校の推移

(単位：校、学級、人、%)

年度	A	B	C		D		1 学級当たり		本務教員 1 人当たり	
	学校数	学級数	在学者数	対前年度 増減率	教員数 (本務者)	対前年度 増減率	在学者数 C/B	対前年度 増減数	在学者数 C/D	対前年度 増減数
平成25	15	345	1,243	1.3	907	△0.1	3.6	0.1	1.4	0.0
26	15	354	1,276	2.7	905	△0.2	3.6	0.0	1.4	0.0
27	15	359	1,295	1.5	907	0.2	3.6	0.0	1.4	0.0
28	15	353	1,306	0.8	919	1.3	3.7	0.1	1.4	0.0
29	15	349	1,302	△0.3	922	0.3	3.7	0.0	1.4	0.0
30	15	345	1,288	△1.1	909	△1.4	3.7	0.0	1.4	0.0
国立	1	9	60	1.7	30	3.4	6.7	0.1	2.0	0.0
公立	14	336	1,228	△1.2	879	△1.6	3.7	0.0	1.4	0.0

(1) 学校数

学校数は 15 校で、前年度と同数である。

設置者別にみると、国立が 1 校、公立が 14 校となっている。

(2) 学級数

学級数は 345 学級で、その内訳は、幼稚部が 7 学級、小学部が 133 学級、中学部が 80 学級、高等部が 125 学級となっている。

(3) 在学者数

在学者数は 1,288 人（男子 887 人、女子 401 人）で、前年度より 14 人（1.1%）減少している。

(4) 教員数

教員数（本務者）は 909 人（男子 294 人、女子 615 人）で、前年度より 13 人（1.4%）減少している。

(表 18、統計表 95、96、97、100)

7 専修学校・各種学校

学校数は専修学校、各種学校ともに変化なし

生徒数は専修学校 3,356 人で増加、各種学校 3,028 人で減少

【専修学校】

表19 専修学校の推移

(単位：校、人)

年度	学校数	生徒数			教員数		課程別生徒数（再掲）		
		計	男子	女子	本務者	兼務者	高等課程	専門課程	一般課程
平成25	32	3,442	935	2,507	294	1,094	182	3,221	39
26	30	3,494	975	2,519	290	1,128	152	3,322	20
27	29	3,425	953	2,472	285	1,138	155	3,247	23
28	28	3,253	967	2,286	270	1,153	156	3,093	4
29	27	3,300	958	2,342	290	1,092	169	3,114	17
30	27	3,356	1,001	2,355	286	1,153	182	3,158	16
公立	4	541	57	484	49	338	—	541	—
私立	23	2,815	944	1,871	237	815	182	2,617	16

(1) 学校数

学校数は 27 校で、前年度と同数である。また、休校中の学校は 2 校（私立 2 校）であった。

設置者別にみると、公立が 4 校、私立が 23 校となっている。（表 19、統計表 102、103）

(2) 生徒数

生徒数は 3,356 人で、前年度より 56 人

(1.7%) 増加している。

男女別にみると、男子が 1,001 人で、前年度より 43 人 (4.5%) 増加し、女子が 2,355 人で、前年度より 13 人 (0.6%) 増加している。

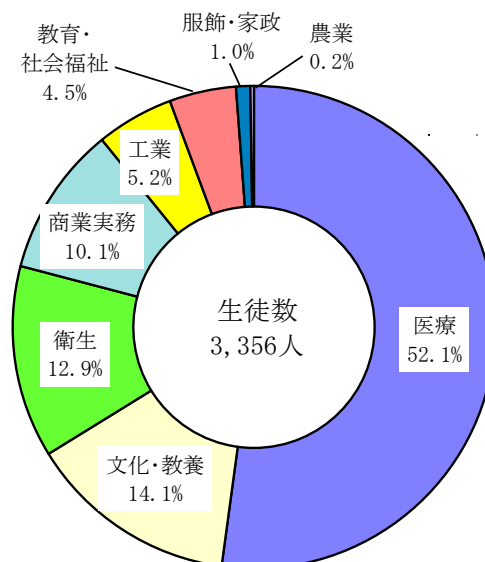
課程別では、高等課程が 182 人（構成比 5.4%）、専門課程が 3,158 人（同 94.1%）、一般課程が 16 人（同 0.5%）となっている。

分野別では、医療関係 1,750 人、文化教養関係 472 人、衛生関係 432 人の順に多い。

学科別では、看護 1,130 人、理学・作業療法 288 人、美容 268 人の順に多い。

（表 19、図 7、統計表 102、106、107）

図 7 専修学校の学科分野別生徒数の構成



(3) 教員数

教員のうち本務者は286人（男子102人、女子184人）で、前年度より4人（1.4％）減少し、兼務者は1,153人（男子630人、女子523人）で、前年度より61人（5.6％）増加している。

教員数（本務者）を課程別にみると、高等課程が11人、専門課程が270人、一般課程が5人となっている。設置者別では、公立が49人、私立が237人となっている。

（表19、統計表102、109）

【各種学校】

表20 各種学校の推移

（単位：校、人）

年度	学校数	生徒数			教員数		修業年限別生徒数（再掲）	
		計	男子	女子	本務者	兼務者	1年未満	1年以上
平成25	25	2,458	1,356	1,102	272	108	1,874	584
26	25	3,012	1,748	1,264	280	101	2,493	519
27	25	2,320	1,313	1,007	274	90	1,893	427
28	24	2,980	1,659	1,321	257	105	2,570	410
29	23	3,226	1,832	1,394	262	101	2,834	392
30	23	3,028	1,677	1,351	261	106	2,629	399
私立	23	3,028	1,677	1,351	261	106	2,629	399

(1) 学校数

学校数は23校で、前年度と同数である。

（表20、統計表110）

(2) 生徒数

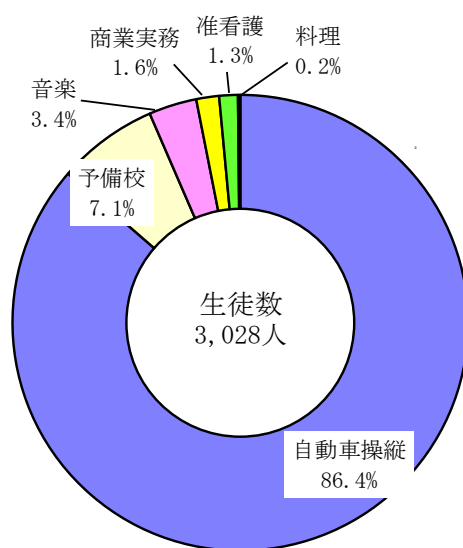
生徒数は3,028人で、前年度より198人（6.1％）減少している。

男女別にみると、男子が1,677人で、前年度より155人（8.5％）減少し、女子が1,351人で、前年度より43人（3.1％）減少している。

課程別では、自動車操縦2,615人、予備校216人、音楽103人の順に多い。

（表20、図8、統計表110、112）

図8 各種学校の課程別生徒数の構成



(3) 教員数

教員数のうち本務者は261人（男子228人、女子33人）で、前年度より1人（0.4％）減少し、兼務者は106人（男子66人、女子40人）で、前年度より5人（5.0％）増加している。

（表20、統計表110、115）

8 中学校（卒業後の状況）

高等学校等進学率 99.4%で全国第4位

表21 中学校卒業者の状況別推移

(単位：人、%)

各年 3月	A	B	C	D	E 就職者等（左記BCD除く）				F	G	H	I	J	K
	卒業者数	高等学校 等進学者	専修学校 高等課程 進学者	専修学校 一般課程 等入学者	自営業主 等	常用労働者		臨時労働 者	左記以 外の者	不詳 死亡	BCDのうち 就職して いる者 （再掲）	有期雇用労働者の うち雇用契約期間 が一年以上、かつフル タイム勤務相当 の者 （再掲）	進学率 B／A	就職率
						無期雇用 労働者	有期雇用 労働者							
平成25	10,098	9,982	1	1	26				87	1	2	…	98.9	0.3
26	10,063	9,968	2	2	29				60	2	3	…	99.1	0.3
27	10,189	10,101	1	3	19				65	—	1	…	99.1	0.2
28	10,095	9,995	2	3	24				71	—	3	…	99.0	0.3
29	10,111	10,038	1	2	15				54	1	2	…	99.3	0.2
30	9,656	9,594	—	—	4	7	1	5	45	—	4	1	99.4	0.2
男子	4,973	4,939	—	—	3	7	1	—	23	—	4	1	99.3	0.3
女子	4,683	4,655	—	—	1	—	—	5	22	—	—	—	99.4	0.0
国立	157	157	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—
公立	9,402	9,341	—	—	4	7	1	5	44	—	4	1	99.4	0.2
私立	97	96	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	99.0	—

- 注) 1 平成30年度調査より、調査項目の「就職者」が「就職者等」に変更された。
- 2 就職者総数＝「自営業主等」＋「無期雇用労働者」＋「H BCDのうち就職している者（再掲）」（就職進学者）＋「I 有期雇用労働者のうち雇用契約期間が一年以上、かつフルタイム勤務相当の者（再掲）」
- 3 「就職率」＝就職者総数／「卒業者数」
- 「就職率」については、平成29年度以前の考え方と変更はない。
- 4 平成29年度以前の「就職者等」の数値は、「就職者」（就職進学者を除く。）の数値である。
- 5 「D 専修学校一般課程等入学者」とは、専修学校一般課程、各種学校及び公共職業能力開発施設等入学者。

(1) 卒業者数

平成30年3月の中学校卒業者数は9,656人で、前年度より455人（4.5%）減少している。

男女別にみると、男子が4,973人で、前年度より163人（3.2%）減少し、女子が4,683人で、前年度より292人（5.9%）減少している。

進路別では、高等学校等進学者が9,594人（構成比99.4%）、就職者等が17人（同0.2%）などとなっている。（表21、統計表119、120）

(2) 高等学校等進学者数

高等学校等への進学者数は9,594人（男子4,939人、女子4,655人）で、前年度より444人（4.4%）減少している。その内訳は、高等学校全日制課程8,946人（構成比93.2%）、定時制課程262人（同2.7%）、高等専門学校254人（同2.6%）、特別支援学校高等部70人（同0.7%）、高等学校通信制課程62人（同0.6%）である。

他県への進学者数は172人で、前年度より14人（7.5%）減少し、進学者全体の1.8%であった。（表21、22、統計表119、120）

(3) 高等学校等進学率

高等学校等進学率は99.4%（前年度99.3%）で、全国第4位（前年度第5位）であった。

男女別にみると、男子が99.3%（前年度99.3%）、女子が99.4%（前年度99.3%）となっている。（表21、23、図9、統計表119、120）

表22 高等学校等進学者の進学先別内訳

（単位：人）

各年3月	高等学校等 進学者総数	高 等 学 校			高等専門 学 校	特別支援 学校高等部
		全日制	定時制	通信制		
平成25	9,982	9,319	320	43	231	69
26	9,968	9,278	303	38	269	80
27	10,101	9,363	319	60	282	77
28	9,995	9,263	313	57	282	80
29	10,038	9,372	266	44	263	93
30	9,594	8,946	262	62	254	70
男子	4,939	4,567	118	34	168	52
女子	4,655	4,379	144	28	86	18

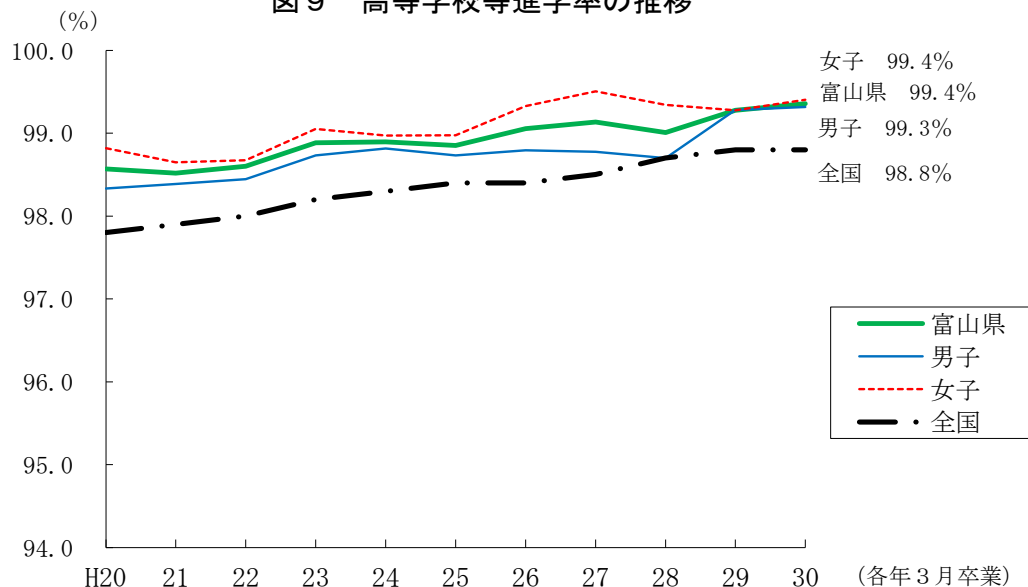
表23 高等学校等進学率の推移

（単位：％）

各年3月	富山県	男 子	女 子	全 国
平成20	98.6	98.3	98.8	97.8
21	98.5	98.4	98.6	97.9
22	98.6	98.4	98.7	98.0
23	98.9	98.7	99.1	98.2
24	98.9	98.8	99.0	98.3
25	98.9	98.7	99.0	98.4
26	99.1	98.8	99.3	98.4
27	99.1	98.8	99.5	98.5
28	99.0	98.7	99.3	98.7
29	99.3	99.3	99.3	98.8
30	99.4	99.3	99.4	98.8

注）高等学校等進学率は、通信制を含む。
高等学校等進学率の最高は、平成30年の99.4%。

図9 高等学校等進学率の推移



(4) 就職状況

就職者総数（表 21（注 2））は 16 人（男子 15 人、女子 1 人）で、前年度より 1 人（5.9%）減少している。その内訳は、自営業主等 4 人、無期雇用労働者 7 人、有期雇用労働者のうち雇用契約期間が一年以上、かつフルタイム勤務相当の者 1 人、就職進学者 4 人である。

就職率は 0.2%（男子 0.3%、女子 0.0%）であった。

就職者総数を産業別にみると、第 1 次産業が 0 人、第 2 次産業が 4 人、第 3 次産業が 11 人、その他が 1 人となっている。

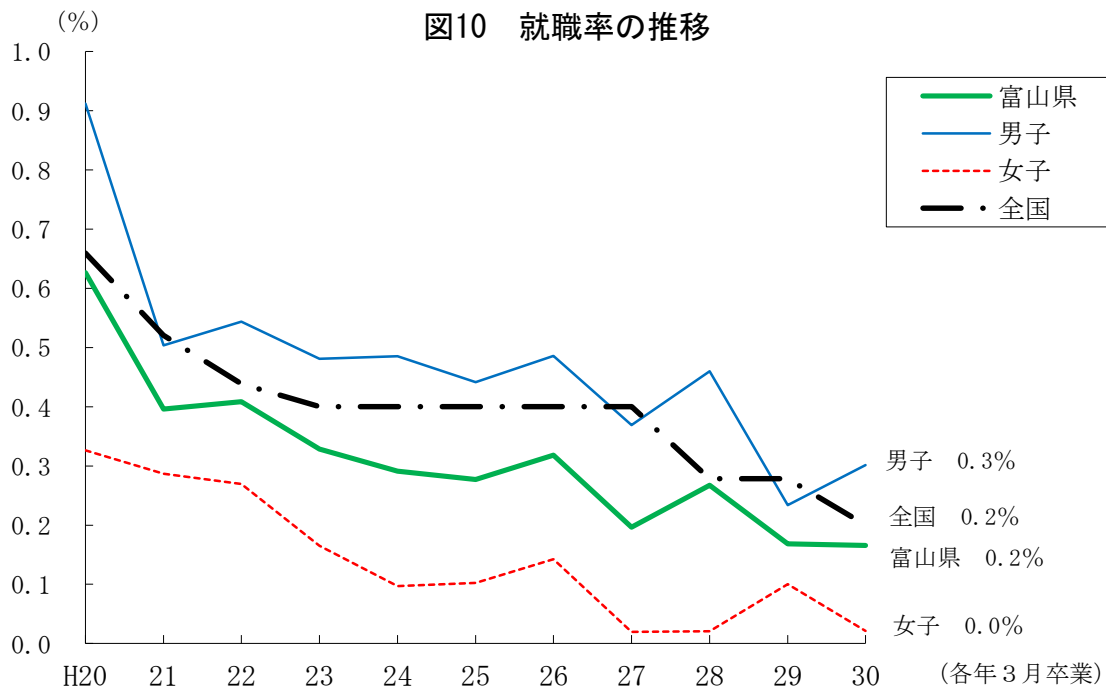
県内就職者数は 12 人（構成比 75.0%）で、前年度より 2 人（14.3%）減少している。

（表 21、24、図 10、統計表 119、120、122）

表24 就職者数及び県内就職率の推移

（単位：人、%）

各年 3 月	就職者総数	うち県内 就 職 者	県内就職率
平成20	63	56	88.9
21	39	37	94.9
22	43	40	93.0
23	33	30	90.9
24	30	27	90.0
25	28	25	89.3
26	32	27	84.4
27	20	19	95.0
28	27	24	88.9
29	17	14	82.4
30	16	12	75.0



9 高等学校（卒業後の状況）

大学等進学率 51.9% で全国第 22 位

県内就職率 94.1% で全国第 2 位

表 25 高等学校（全日制課程・定時制課程）卒業者の状況別推移

（単位：人、％）

各年 3 月	A 卒業生数	B 大学等 進学者	C 専修学校 専門課程 進 学 者	D 専修学校 一般課程 等入学者	E 就職者	うち正規 の職員等 でない者	F 一時的な 仕事に就 いた者	G 左記以外 の者	H 不詳 死亡	I BCDのう ち就職し ている者 (再掲)	J 大学等 進学率 B/A	K 就職率 (E+I)/A
平成25	9,556	5,003	1,724	664	1,957		66	142	—	12	52.4	20.6
26	9,106	4,712	1,627	593	2,007		37	130	—	12	51.7	22.2
27	9,365	4,870	1,668	620	2,063	2	37	107	—	18	52.0	22.2
28	9,161	4,762	1,512	644	2,083	7	33	127	—	9	52.0	22.8
29	9,115	4,760	1,550	640	2,027	3	44	94	—	7	52.2	22.3
30	9,195	4,770	1,544	494	2,014	14	26	347	—	3	51.9	21.9
男子	4,558	2,148	503	377	1,304	4	12	214	—	—	47.1	28.6
女子	4,637	2,622	1,041	117	710	10	14	133	—	3	56.5	15.4
公立	7,279	4,073	1,113	423	1,373	12	16	281	—	3	56.0	18.9
私立	1,916	697	431	71	641	2	10	66	—	—	36.4	33.5

注) 1 「A 卒業生数」は、全日制課程本科・定時制課程本科の卒業生数。

2 「D 専修学校一般課程等入学者」とは、専修学校一般課程、各種学校及び公共職業能力開発施設等入学者。

3 「F 一時的な仕事に就いた者」は、パートやアルバイト等の臨時的な収入を目的とする仕事に就いた者の数で、就職率には含まれていない。

（１）卒業生数

平成 30 年 3 月の高等学校卒業生数は 9,195 人で、前年度より 80 人（0.9％）増加している。

男女別にみると、男子が 4,558 人で、前年度より 16 人（0.3％）減少し、女子が 4,637 人で、前年度より 96 人（2.1％）増加している。

設置者別では、公立が 7,279 人、私立が 1,916 人となっている。

課程別では、全日制課程が 8,934 人、定時制課程が 261 人となっている。

進路別では、大学等進学者が 4,770 人（構成比 51.9％）、専修学校専門課程進学者が 1,544 人（同 16.8％）、専修学校一般課程等入学者が 494 人（同 5.4％）、就職者が 2,014 人（同 21.9％）、一時的な仕事に就いた者が 26 人（同 0.3％）などとなっている。

（表 25、統計表 124、125、126、127）

（２）大学等進学者数

大学等への進学者数は 4,770 人（男子 2,148 人、女子 2,622 人）で、前年度より 10 人（0.2％）増加している。その内訳は、大学学部 4,078 人（男子 2,071 人、女子 2,007 人）（構成比 85.5％）、短期大学本科 622 人（男子 67 人、女子 555 人）（同 13.0％）、高等学校専攻科 67 人（同 1.4％）、大学・短期大学の別科 1 人（同 0.0％）、大学・短期大学の通信教育部 2 人（同 0.0％）である。

卒業学科別にみると、普通科が 3,731 人（構成比 78.2％）、農業科が 26 人（同 0.5％）、工

業科が 140 人（同 2.9%）、商業科が 308 人（同 6.5%）、水産科が 13 人（同 0.3%）、家庭科が 54 人（同 1.1%）、看護科が 38 人（同 0.8%）、福祉科が 9 人（同 0.2%）、理数関係又は外国語関係など（統計表では「その他」に計上）が 223 人（同 4.7%）、総合学科が 228 人（同 4.8%）となっている。（表 25、26、統計表 124、125）

表26 大学等進学者の進学先別内訳

（単位：人）

各年 3月	大学（学部）			短大（本科）			大学・短大 の別科	高等学校 専攻科	特別支援学校 高等部専攻科	大学・短大の 通信教育部
	計	男子	女子	計	男子	女子				
平成25	4,160	2,256	1,904	780	114	666	—	61	1	1
26	3,984	2,160	1,824	659	96	563	—	68	1	—
27	4,086	2,155	1,931	710	96	614	1	73	—	—
28	4,017	2,147	1,870	655	90	565	—	89	—	1
29	4,047	2,113	1,934	645	85	560	1	65	—	2
30	4,078	2,071	2,007	622	67	555	1	67	—	2

（３）大学等進学率

大学等進学率は 51.9% で、前年度より 0.3 ポイント低下し、全国第 22 位（前年度第 20 位）であった。このうち大学学部への進学率は 44.4% で、前年度と同率であり、短期大学本科への進学率は 6.8% で、前年度より 0.3 ポイント低下している。

男女別にみると、男子が 47.1%（前年度 48.4%）、女子が 56.5%（前年度 56.1%）で、女子の大学等進学率が男子を上回っている。大学学部への進学率では、男子が 45.4%（前年度 46.2%）、女子が 43.3%（前年度 42.6%）と、男子が女子を上回っている。なお、女子の進学率の内訳では、大学学部への進学率（43.3%）が短期大学本科への進学率（12.0%）を上回っている。

卒業学科別では、普通科が 62.3%（前年度 62.5%）、農業科が 14.5%（前年度 17.9%）、工業科が 12.6%（前年度 16.5%）、商業科が 41.8%（前年度 37.3%）、水産科が 21.7%（前年度 21.7%）、家庭科が 29.0%（前年度 23.0%）、看護科が 100.0%（前年度 100.0%）、福祉科が 30.0%（前年度 33.3%）、理数関係又は外国語関係など（統計表では「その他」に計上）が 58.1%（前年度 58.3%）、総合学科が 48.2%（前年度 53.2%）となっている。

（表 25、27、図 11、12、13、統計表 124、125）

表27 大学等進学率の推移

（単位：％）

各年 3 月	富山県	男 子	女 子	全 国
平成20	54.6	52.0	57.3	52.8
21	54.2	50.5	58.0	53.9
22	55.2	52.5	57.9	54.3
23	54.2	51.1	57.3	53.9
24	53.3	50.7	55.8	53.5
25	52.4	49.6	55.1	53.2
26	51.7	49.1	54.4	53.8
27	52.0	48.6	55.4	54.5
28	52.0	48.7	55.4	54.7
29	52.2	48.4	56.1	54.7
30	51.9	47.1	56.5	54.7

注）大学等進学率の最高は、平成22年の55.2%であった。
男女別では、男子は平成22年の52.5%、女子は平成21年の58.0%であった。

図11 大学等進学率の推移（全国比較）

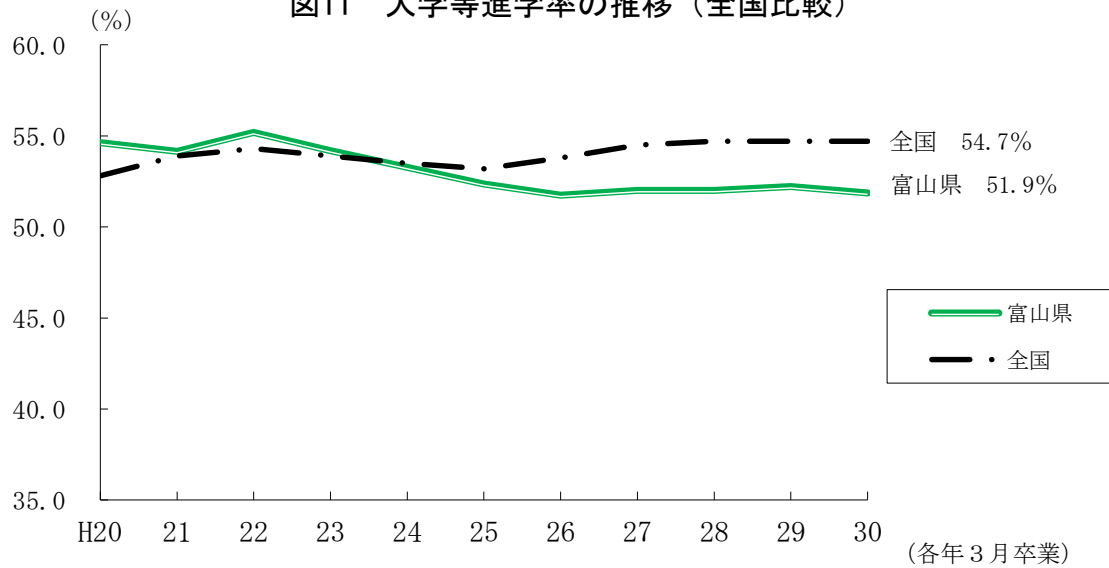


図12 大学等進学率の推移（男女別全国比較）

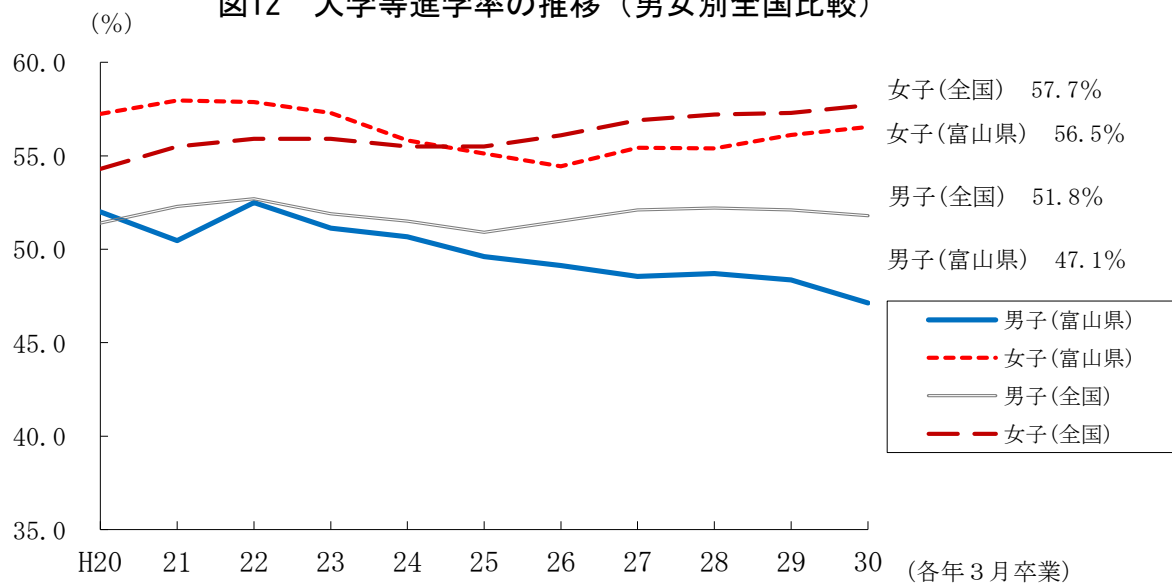
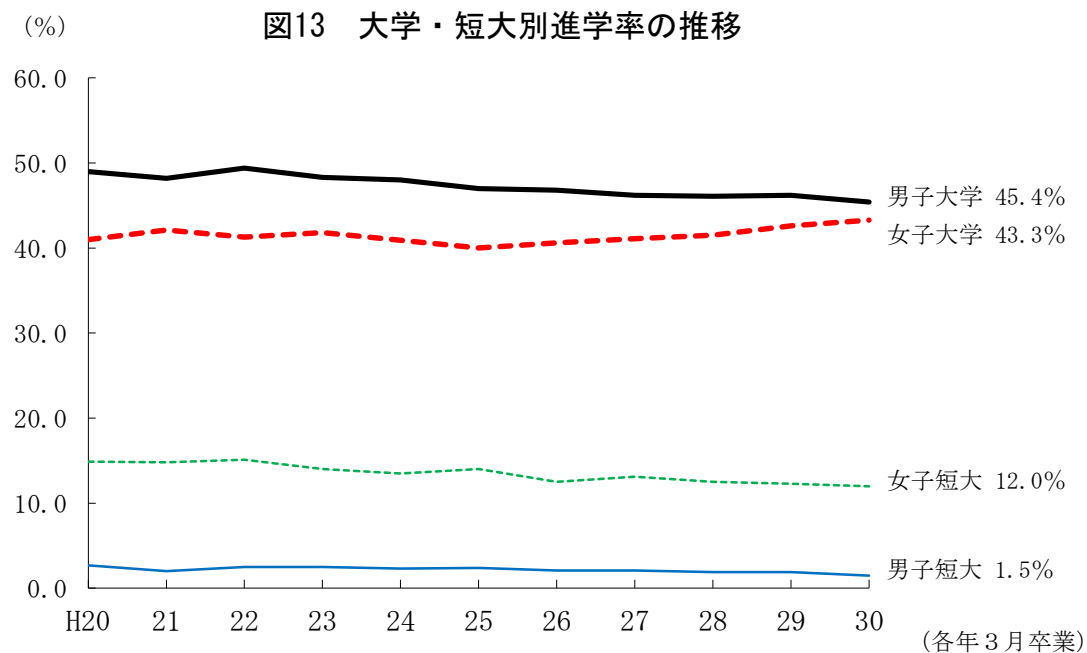


図13 大学・短大別進学率の推移



(4) 就職状況

就職者総数（表 25 の「E 就職者」と「I BCD のうち就職している者（再掲）」（就職進学者）を加えた全就職者数）は 2,017 人（男子 1,304 人、女子 713 人）で、前年度より 17 人（0.8%）減少している。その内訳は、就職者 2,014 人、就職進学者 3 人であった。

就職率は 21.9%で、前年度より 0.4 ポイント低下しており、全国の 17.6%を上回っている。男女別にみると、男子が 28.6%（前年度 28.9%）、女子が 15.4%（前年度 15.7%）となっている。

就職者総数を産業別にみると、「製造業」が 1,178 人（構成比 58.4%）で最も多く、次いで「建設業」が 195 人（同 9.7%）、「卸売業・小売業」が 127 人（同 6.3%）などとなっている。

職業別では、「生産工程従事者」が 1,131 人（構成比 56.1%）で最も多く、次いで「サービス職業従事者」が 160 人（同 7.9%）、「事務従事者」が 143 人（同 7.1%）、「建設・採掘従事者」が 142 人（同 7.0%）などとなっている。

就職先を県内・県外別にみると、県内就職者数が 1,898 人で、県外就職者数の 119 人を大きく上回っており、県内就職率は 94.1%と、前年度より 2.3 ポイント上昇し、全国第 2 位（前年度第 6 位）であった。

県外就職者の都道府県別では、東京都 38 人、石川県 22 人、大阪府 19 人、愛知県 12 人などとなっている。

（表 25、28、図 14、15、16、統計表 124、125、129、130、131、132）

図14 就職者の産業別割合

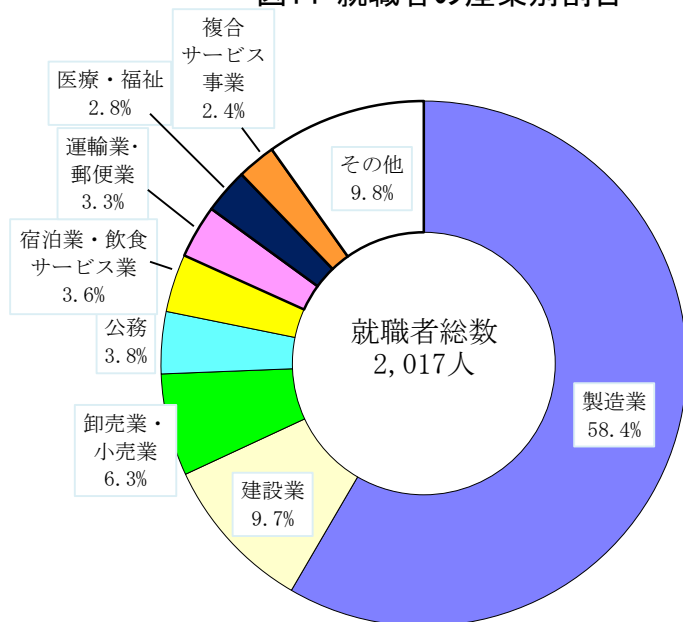


図15 就職者の職業別割合

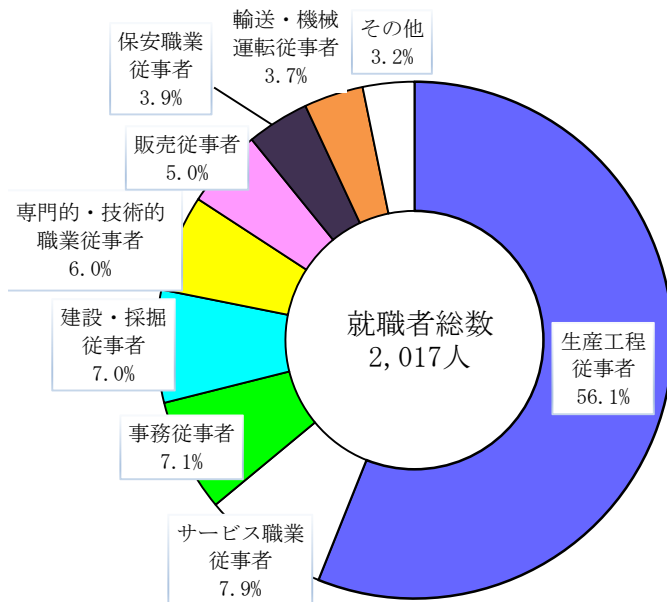
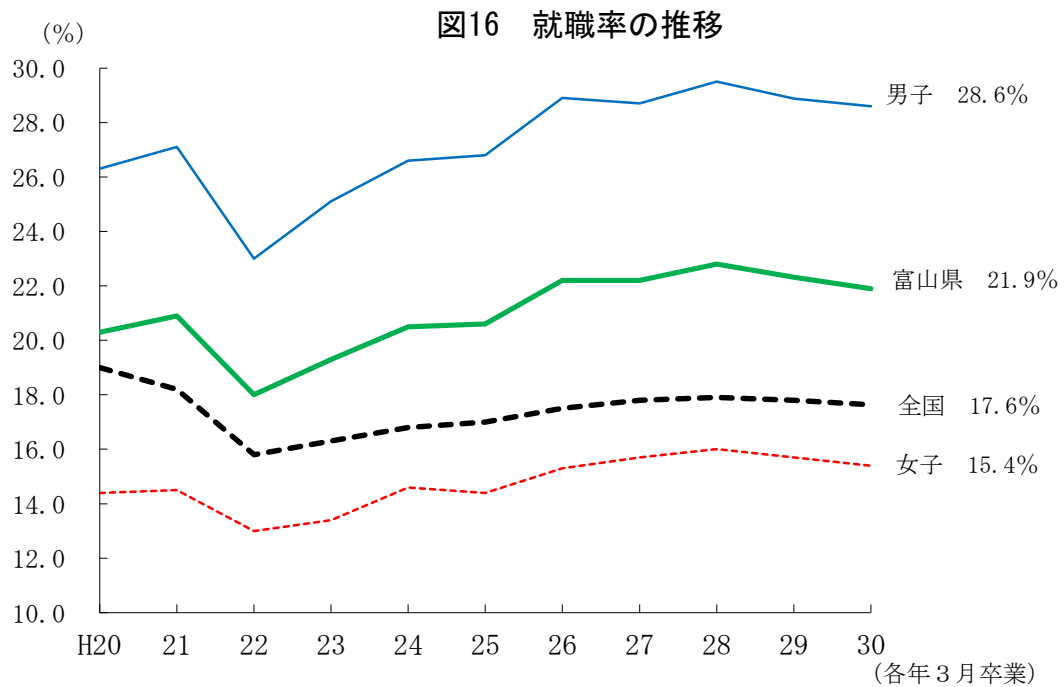


表 28 就職者数及び県内就職率の推移

(単位：人、％)

各年 3 月	就職者総数	うち県内 就 職 者	県内就職率
平成20	1,896	1,742	91.9
21	1,877	1,715	91.4
22	1,629	1,502	92.2
23	1,721	1,610	93.6
24	1,802	1,698	94.2
25	1,969	1,857	94.3
26	2,019	1,859	92.1
27	2,081	1,960	94.2
28	2,092	1,989	95.1
29	2,034	1,868	91.8
30	2,017	1,898	94.1

注) 県内就職率の最高は、平成28年の95.1%であった。



10 特別支援学校（卒業後の状況）

【中学部】

表 29 特別支援学校中学部卒業者の状況別推移

(単位：人、%)

各年 3月	A 卒業生数	B 高等学校 等進学者	C 専修学校 高等課程 進学者	D 専修学校 一般課程 等入学者	E 就職者	F 左記以 外の者	G 不詳 死亡	H BCDのうち 就職してい る者(再掲)	I Fのうち社会 福祉施設等 入所、通所者	J 進学率 B/A	K 就職率 (E+H)/A
平成25	114	114	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—
26	104	103	—	—	—	1	—	—	—	99.0	—
27	114	109	—	—	—	5	—	—	5	95.6	—
28	120	114	—	—	—	6	—	—	6	95.0	—
29	109	105	—	—	—	4	—	—	4	96.3	—
30	113	112	—	—	—	1	—	—	—	99.1	—

注) 「D 専修学校一般課程等入学者」とは、専修学校一般課程、各種学校及び公共職業能力開発施設等入学者。

(1) 卒業生数

平成 30 年 3 月の特別支援学校中学部卒業生数は 113 人で、前年度より 4 人 (3.7%) 増加している。

(2) 高等学校等進学者数

高等学校等への進学者数は 112 人で、前年度より 7 人 (6.7%) 増加している。

(3) 高等学校等進学率

高等学校等進学率は 99.1% で、前年度より 2.8 ポイント上昇している。

(4) 就職状況

就職者数は 0 人で、前年度と同数である。

(表 29、統計表 123)

【高等部】

表 30 特別支援学校高等部卒業者の状況別推移

(単位：人、%)

各年 3月	A 卒業生数	B 大学等 進学者	C 専修学校 専門課程 進学者	D 専修学校 一般課程 等入学者	E 就職者	F 左記以 外の者	G 不詳 死亡	H BCDのうち 就職してい る者(再掲)	I Fのうち社会 福祉施設等 入所、通所者	J 大学等 進学率 B/A	K 就職率 (E+H)/A
平成25	153	4	1	1	42	105	—	—	86	2.6	27.5
26	147	2	2	—	55	88	—	—	74	1.4	37.4
27	165	4	1	—	45	115	—	—	111	2.4	27.3
28	185	2	—	2	57	124	—	—	120	1.1	30.8
29	183	7	1	3	66	106	—	—	102	3.8	36.1
30	179	1	—	4	63	111	—	—	95	0.6	35.2

注) 「D 専修学校一般課程等入学者」とは、専修学校一般課程、各種学校及び公共職業能力開発施設等入学者。

(1) 卒業生数

平成 30 年 3 月の特別支援学校高等部卒業生数は 179 人で、前年度より 4 人 (2.2%) 減少している。

(2) 大学等進学者数

大学等への進学者数は 1 人で、前年度より 6 人 (85.7%) 減少している。

(3) 大学等進学率

大学等進学率は 0.6% となり、前年度より 3.2 ポイント低下している。

(4) 就職状況

就職者数は 63 人で、前年度より 3 人 (4.5%) 減少している。

(表 30、統計表 133)